

レジガードEPプライマー

1. 一般名 コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー
2. 規格 コンクリート塗装用塗料標準
3. 特徴
 - 1) コンクリートに対する浸透性がすぐれる。
 - 2) パテや中塗との相互接着性にすぐれている。
 - 3) 耐酸、耐アルカリおよび物理特性にすぐれている。

4. 塗料性状

項 目		内 容			
容姿		2 液性			
荷姿		16 kgセット（主剤：8.0 kg、硬化剤：8.0 kg） 4 kgセット（主剤：2.0 kg、硬化剤：2.0 kg）			
色相		クリアー			
光沢		つや有り			
密度 (23℃)	塗料	0.95			
	揮発分	0.85			
加熱残分		45%			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	3 時間	2 時間	1 時間	30 分
	半硬化	24 時間	16 時間	8 時間	6 時間
	標準膜厚	—			
引火点		S D S 参照			
発火点		S D S 参照			
爆発限界（下限～上限）		S D S 参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項 目		内 容			
下地処理*		ブラスト又はワイヤーブラシ処理			
調合法		主剤：50 部、硬化剤：50 部（重量比）			
可使時間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	48 時間	36 時間	24 時間	12 時間	
温度・湿度制限*		温度：5℃以下、湿度：85%RH 以上			
使用シンナー		レジガードシンナー A			
塗 装 法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗装			
	希釈率	50～100%（重量比）			
	標準使用量*	100g/m ²			
	目標膜厚*	—			
塗装間隔* (20℃)	最小	1 日			
	最大	10 日			

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- (1) コンクリート面のレイタンス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- (4) 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- (5) 希釈には必ずレジガードシンナー A を使用すること。
- (6) 塗装終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナー A で十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- (7) 塗装後短時間以内に雨に当たると塗膜が白変する恐れがあるので注意のこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第 4 類第 1 石油類	第 4 類第 2 石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	S D S 参照	S D S 参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、S D S をご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。